

リンチ

(戯曲)

羽鳥ヨダ嘉郎

あなたにみられて いる必要はない。耳の頭の上 が平面につく。

素人 脱ぐには？ というのも、力を入れたことがないんです、私は。でも入れられま
すか？

お袋 鳥肌が立つて いたらどんなにいいだろう。毛に運ばれることができるのだから。
襟首をつかんでほしい。人が寝ているのを見たことがないし、私とは似ていな
いだろう。

胃に刺さつて いるチューブを見る人は痛い。

素人 痛がられて いる……。

殴つた日に（そういう日があれば）、歩けていた人たちだ。突き出しも弧を
描きもしない、向きを限れば横なぐりといわれるような運動。そういう肩があ
る、あると命ずる。ないと命いたくない。

帰つてもらえる。

素人 カーテンが、外に出て來てた。（強く）風にされたことを言つてみろ、それは同
時か？
お袋 ……季節はずれだから。

恒久的な求めについて素人は考えたことがなく「長いって！」というだけ「経
年して いるじゃん！」だけであり何かに加入している、入っていない部分が考え
る。風呂である。

お袋

茹でピーナツの殻を足下に捨てるようなじつとりと気持ちいいのがこの人には
ないと思われて いると思う。私を使って思つて いる。（手袋が粘膜に触れる。）こ
の「樹皮」で押し切られたのはポル・ポート派以外の首、ローターリー通るたび違
う人が痛がるの思うがそれをして いる私で、皮はいで食べたからとも言わされてい

る。煮てよという。今そうでない——でも食べたのだろう。私に加えられたもの
らによつてこうなつていることは疑いえない。ぶちこまれた。オレの脚のよじれ
も跡たち。(傍目には) 静かね。

(お前に島のことがわかるわけがない。)

素人 お袋 葉を引かないで!

聴いているのは鼾だけだ。

汗をもらえない所与のストレッチ、時に倒れて息が詰まる、頸を押し上げ抑えつけられる。雨だけが私を割る。

黄水つく、黄水つく。

私はまづ立つていてほしい、それ以外はまつすぐの毛ない。こうした行為のために生きさせられている人は刹那的ではない。

……嘔吐バツクス、…………タハツ!

目に入らないだけでいいのに。

間。

お袋 日に入つたり入らなかつたりしたい。ケーキ計器だつてそうでは。

間。

お袋

裸眼のイメージ。アクビしたさが舌の上にたまつてゐる。……たまたま考えててそれが確かめられない……。感覚は思い出すためにあるのではない……。牛脂同士の、霜降り同士のキス……。夢の中に蚊の群れ。

瞬きした心を繰り返し持つが、点眼が断続化する。

子どもの頃から、寝ていると口が開いてしまうので布をそこまで上げたいと思つています。

動く仕切りだく……。動かない仕切りだ。

……腑分けしようがない、肉かもしれない。痛み、座りのわるさが私の外延。だるさ。左前歯ぎしつた感触。

素人 お袋

お袋

素人 お袋

お袋

素人 お袋

素人 お袋

お袋

素人 組ましてあげるよ。

お袋 有り難い……。

その都度、下半身は別モノになる。

素人 セツ

間。

素人 私が体への負担減らすのに言う。

(何を言つているのかわからない)

お袋

素人 和船がくる。

お袋

(持ち上がりしていく右腰)

素人 体力を落とさないように……。

夜を見る日。

素人

お触れがあり、また外に出す。年齢ひとつでペアと思われる、そのことに嫌気がさしている場合は、できるなら位置どりを工夫する。子どもたちはお互いを見つめながら走り回って、増えたり減ったり背が大きな者がいたりした。

思うことは、安田おどり。大日本翼賛安田村壮年団文化演劇隊、空井健二(のち、勤労芸能研究会地方連絡員)の持ち込んだ火はどのようにあって踊りをあらしめたか。

お袋

六〇コ上だから、ポル・ポートが十六才くらいのとき、青年団の演劇部のリーダーが構成して復活させた踊り。八月半ばに小豆島で、校庭で祭壇の前に整列して、遠く墓前から聖火のように、村長と僧侶が松明を護持してくる。手踊りで男女で、違う振りを違う場所で踊る(が少女歌劇にもなった)。

和船が「神ながらの道」顕現のため、とささやく。みな泣く。現地の女はそ

れを踊れなかつたのに。

少女歌劇になつたときの背景は寒霞溪とその空井はいう。

絵が来ちやう。

お袋

関西学院卒の空井は、農村演劇の先駆者、松田の本を読んでいる。主宰する最上協働村塾の、長期第一回生に松田が修了証として渡したのは、農奴の男女の絵。裏には牛によるキャプションを写し、額に入れて部屋に飾れ、と言つた。画面は壁に面した。踊りの十年前の夏、原画は四振り切り裂かれた、仏国。二ヶ月先んじてダリの前にイメージが立ち現れはじめた。牛は農夫についてしか語らないが、その妻は差し迫つた性的攻撃に向けてカマキリのように停止しているとう。

絵が来ちやう。

お袋

一日の業を了りたる、若き農夫とその妻と、今方に家路に就かむとする時、エンデラスの祈祷を告ぐる夕べの鐘の音ひゞきわたりぬ。二人は頭を垂れて無言のいのりを捧げぬ。地には平和あり。天には光あり。汝の短き日の何時かは暮れむ時、而してエンデラスの祈祷の鐘の汝の晩年に響かむ時、其の心果して是の若き農夫の如く安きを得べしとするか。皇國農民の本領を全うすべし。（見て）芸人が手ずから……。

待つていた人が去る。

お袋

……子どもの服の色で連れている人をおぼえていて、でも、だから誰も、私には同時といふものはなかつた、それに、思い出すといふのは低い。

あ、機能に困つてる？ 入管いく？ （間）（ストリングス） 入管いく？
との

うん？（そうじやないとな、外でやつてるもんな、アホになる）
どるの？

うーんん、ん…………ジエネ、ラル、ジエネ、スト、ジエネスト……（ハンディな消毒スプレーのフタをつまんで、そのすぐ横のもう片手で手袋の首を持つてぶ

素人

お袋

素人

お袋

素人

お袋

素人

お袋

らつかせてみせている)

(一抹の苦味。酸味と塩味は出せるし、) じぶんで

お袋

縦立でお見舞いする。

お袋

魔除けの顔をしてくれない、目を見ひらいて歯をむき出して、横棒をくわえてもいい。なるべく沢山。……うちはプールにします？ なんでえ！？ どうぞ触つていいって。

素人

お袋

素人

お袋

歯ぐきにかみそり垂直にあててこしおろす。よりたやすい行為（聞いていないように見える）

……モーターしか知らん、鳴くもんは踏みたい、踏みたい、迫いたいよう、迫いたいよう。

重かれ軽かれ湯に入れれる。風呂である。

お袋

素人

お袋

排水口とつながって満ちている！

（…………寝てる？）……クジらいでか……。

ああ、水が、入っている、入っている。

お袋

素人

お袋

ロールカーテンの隙間にねじ入れた指二本をちらちらと動かし人を呼ぶ（ことがある）。細かい裂傷が人差し指と中指の脇にはついているのだろう、固かつた感触はある。

素人はい、はい、元気？ うん、いいよ、いいよ

プラスチックのきしむ音。

刻んだげるし、脇は空いてるし、
するのに動員する……。
爪も、脱爪しておけばよかつたねえ。
……。

素人
お袋
素人
お袋
素人
お袋
素人
お袋
……（空井は）聖火をなにで見たんだろう……。
微笑と思えなくもない。今いる場所の高さも知らない。

素人 ……暑いな、冷やそう。

間。

素人 また熱ねつそう。

間。

素人 冷やそう。

間。

素人 熱そう。

間。

素人 冷やそう。

間。

素人 内圧が減つて世界が輝く……。

お袋 あつ足湯の箱を蹴つてしまつた

お袋 金網を泳いで……コリアン・ガス（唐辛子粉のこと）を……。一体

お袋 が、枝々の上に置かれたような感じが、します……。

長い間。

お袋 ……私だつて骨を拾つた。他の人が踏まないよう、公園の道の端に置けど、オーディオガイド……。起動しない。同じ言動でも夢が続かない。……

和船 ポリ（ティク）・ポテンシヤール……。

お袋 あの男が目薬をさしたら窓が濡れた。
いたの

お袋は目線で語るときがある（ようになつてゐる。文字盤があつてもよい）。

免税店でこれ、ね。ビーズの消臭剤。

和船
お袋

ショキショキ、ね。

……。足を折りたい、腰を折りたい。

……。

あれは

……ああ、申請しておきましたよ……。

手が見たい、と言い換えて右腕を動かしてもらう。ついで左手も。曲がった四本の指。引っ掛けたり載せたり挟んだりされることになる。透明なプラスチックの支柱がつくかもしれない、テグスではあるまい。

（槍投げの振りかぶり）練習してみたいないーと思つて最近。もう遅いか。

和船
お袋

和船
お袋

……。

搔いてあげよう。

和船がお袋を搔く。手は戻す。

お袋
搔かれた跡は当分あかるい。

蟬が鳴いていた。

鳥がうすれていく。

お袋

右足の人指し指、中指、薬指の三本を使ってとても小さいつららをつかんだように思つてはいる。とやや熱いおならが少し出て、性器を包む。左脚の踵の下に籠の枕を置いてもらつたもんで膝が張るとともに腰につながる身体が右向きになる。このように崩してもらうと不随意のテンション（かえし）を延々感じずにする。戻され、万一膝が立てられたならば（そういうベッドなので）、右股関節のテンションは強烈なものになつてゐるだろうが。いつて私の粘りは私だけ。水は自分が粘つてゐるつて思はないと思うけど私は思う。私は粘つてゐる。たぶんもうすぐ血が出る。周期という考えを捨てながらその日を待つ、奪取の日を。

口ぬらし。その後、スマーケ。

和船

無印のデフューザーで蒸留酒を発散するとすぐ急性アルコール中毒になるって
読んだ。

スマーケ激しく（音が）。

休憩（休憩らしい休憩）

素人

われわれは見た。太陽が明るいのとまったく関係なく地面が明るいのと同じだ。
 ……いや持ち重りするつて、ストレッチャーいるつて。

お袋が来る。グワン（してみないと発音できないので、以下**）が体験に
 来ている。

（バイリンガルである）給餌、食事、きゅうに、（痛そうにする）

寝ショーンベンたれは自民ではねえ！

……わたし美術館。（クルツ）

？

ごあんないするよ。

……。

何かを見せている。

お袋

中央で窓枠を持つて右奥に進もうとしている電車のような男は、その枠に冠をした鳥たちをとまらせているが影がとてもなく小さい。彼よりも鳥よりも。彼の帽子よりも。枠なら影は取り込まない、覆わない。そうだ。船舶だから游泳ではないというのだ。枠を浮かべて。すばらしかった。川面で踊った。すばらしかったから思いだす。それはいい。でも今よくないと思いそうになる。数え入れ続けなければ。組織しなければ。すわりの悪さを組織しなければ！（それと同時にマイルストーンも置かないこと）

爪がパリパリだね。

あなたのしまはなにおおいの

風と石と女

3 できないだな

笑う。熱いタオルである。もう風呂ではない。

お袋

お袋

**

お袋

お袋

素人

お袋

相変わらず見せ、嗅がせ、触らせてくる。
小さいシャワーは？ 小さいシャワー。

……。

素人

素人

素人

舌がかゆいと気もちいいというのは誰でも知っているでしょう。
はい、でも……。

素人

素人

素人

お袋

……返上されたのは踊りの四年前。でも聖火は流行った。なにで見たんだろう…

…。

まだ絵は来ない（さつきの船の絵もない）。

お袋

お袋

お袋

お袋

お袋

穴どもの違和感は大きすぎる。穴のまわりはさらに避けられる、汚れる、こわい。
こわい？
……この、この、一度じやなさ！

素人

素人

素人

島のことが、わかるわけがない（岩だから）。わざとかゆくしますね。

間。

お袋

耳の下側の音が、潮のように引きずらない以上、私は出でていけない。鼓膜の圧として話し声。ほぼ未練であるポップスに、ヒットするや否や支配されるから、慎

私はあなたの間を仕方がないものと思つていますよ
はい

重に別のことを考える。聖火は来た。領土から領土へ。のち、ほとんどの新人民軍兵士は鍼が打てる。弾みを与える（という歌詞を含んだ曲が聴こえる）。旗を、袖を、胴をふり、五酸化二燐の白煙を見送る。分火して合火する。煙は肥料である。媒介がスキヤンするというのは、媒介 자체がスキヤンするというのは、本当にモダンだね、と言えるだろう。あの手から奪われた火でなければ意味がないと、通らなくとも主張はさせなければならない。見上げている限り奥行きは分からないが、まぶしさはあり、いぶされもする。ソフトターゲットである、そんな、私は……。く、か、火炎瓶を与えるのではなく、聖火を持ち帰ろう！ この手は危険であつてやる。段ボール剥ぐように治る、ことなくとも。ロツクトインしても。奪われるための手。私がどうして、いるかわかりますか。レガシーのためにす。頭皮からの蒸気でサングラスがくもる。教則ビデオ見せられる。逆らえないのに。

捻髪音がする。

お袋
私のあなたにとつての、ゴキブリがいる。近付いている。

お袋
＊＊
水入つてた（間違つてた）！ 水入つてた（間違つてた）！

お袋
まぶたを開けなくては。

お袋
和船が来る。

お袋
しばつて

長い間。

私がいないのに火だけ新たにして再開する訳にはいかないでしょう。
いくよ。

……何をとつておけばいいの。

わかりきつたことの間。

お袋
おしえね

お袋
和船
お袋

お袋

スモーク。

*
*

……等身大の合板で圧迫されるつて……。加湿器殺菌剤はこの世でその半島の南側でだけ許されていたのです。コンプライアンスが下がつていって、肺が繊維になる（間質性肺疾患）、客船、家の中の、歳月、……等身大の合板で圧迫されるつて……。合板そのものが……。

ちよつとした休憩

再開

素人

チューブを降りろ！

間。

お袋

起きている（何かが）。ふくらはぎに血がいくたび腰が左に揺れる、いや膨れる
るのか、中が。
食指がうごくつてわかる？

素人

注ぐのも食事のうちつていうかね、
はい、

素人

注いでくれる？

素人

あと飯食つてるときに胃袋の中身想像させないで。

素人

は
私から流れ下りた。

お袋

……。

お袋

集まり、を抱えている。上に拡がつてているのか。
……。

お袋

処理される。次いでゆるやかに棒でなくする時間が来る（動かされる）。

お袋

……あとは、たまに立てて、頸関節症に気をつけて……。

暑い。

お袋

暑い。どこかにマスタード・ガス（きい剤）が埋まっているのか推測したときの
匂い。永暑礁？ 吐かれた砂を着るキツネ……。顔が燃えながら飛んでいる人……。
モーターが近付いたのでうるさい。
歩ける床？ 動く歩道で行きましょう。

搬入さんだねコリヤ

和船

＊＊

私の底以外は集中がない。もう疊まれでない、擦れてか溝に気付くことはあるが、組成の可動域だけでなかつたシワはもうないようだ……。

* とけちやいそう

お袋 ……コブは？ ……東の（ガタン）、次の、聖火で、聖火の沿道は、島のソテツで飾られてあつた……。生えてるのか？（総務長官）

* 輝いてると思う炎はどんなものですか？

* 和船 ……炭素だろう。

お袋 ……約束が守られるのかもしれない。

絵が来ちゃう。

和船 風だ。

お袋 ……稻穂拾いてかりがね二つ夕暮れどきの涼しさに……。 ……夕暮れ……？

* * 角を渡る時、下には何も、ない。

お袋 ……すく血の気がどこかに引く。 ……このように痛むことでシクシクという言葉がやつてくる。いつかが到来するのではない。そのとき視界は問わない。

和船 背中に小さい人間が……。

お袋 （わたし） 転んだ！ 転んだ！ わははははは。あ痛……。揺れだわ……。

和船 ……人数も多くなるしな……。

お袋かけられる声はかけられる声だわ……。

* * 運ぶさまが見られるんだ。

暑い。

* * 風の能動性を感じる？

お袋 ……吹き込むとするか……。でも触られは同時にあるの。今されているのどちらがわない。何を思つても。どうぞ。

とても長い間。

ここに火が来ます。

和船 私はもう走つてゐる。ロールしてゐる。目を開けていられない。見てゐる人がい
お袋

る私が歴史業者によつて中継される。無色のミートボールが口のなかにある。タニシを食べるとときはまず先っぽを噛みちぎる。空気穴と、私は、帰つてきている。

何かが一せいな気がする。奪わせてみせる。奪わせてみせる。みんなの首の上に平面がある。

野次

あなたに与えられたのはすべて他のものだ。ヤシはソテツではない。霧は彫刻である。そうさせる。

(再演時に適宜書き換えるほか、以下の文言を付け加えて構わない。

長い間。

素人

火はゆく。当のもののかわりに及んでいく。盛り上がりに手をつく。夜には壁の中で、並んで酸欠になれる。沢山笑う。煙の少ない火種が、ありがたい。)

終了

特に参考にした箇所のある文献

石原慎太郎、野田数「尖閣侵犯再び！——石原慎太郎「日本は戦争の覚悟を示せ」」
PRESIDENT 2012年9月17日号

イン、ナムグン「加湿器殺菌剤で95人死亡。韓国で起きた「家の中のセウォル号」事件とは」ハフポスト日本版、2017年5月5日18時12分更新（最終閲覧日：2019年9月21日）
https://www.huffingtonpost.jp/namkoong-jhn/reckitt-benkiser-korea_b_9837074.html

金城達也、寺林暁良「徳之島の生業複合から「ゾテツ地獄」を問い合わせなおす——構築された歴史観と地域社会の歴史認識のズレ」『地域文化論叢』15、2013年

草野成郎『それは東京五輪の「聖火」から始まつた——天然ガス時代を拓く』エネルギーフォーラム、2014年

佐藤光雄『燐が燃えたまちヒロシマ——被爆60周年』本の泉社、2004年

瀬川将宏「国立ハンセン病療養所医療従事者フィリピン研修に参加して」『ふれあい福祉だより』15、ふれあい福祉協会、2018年

空井健二「小豆島安田村の演劇運動」（「文化運動資料 第一輯」大政翼賛会文化部、19

43年)『資料集 総力戦と文化』1、大月書店、2000年

高山樗牛「晩鐘」『樗牛全集』第6巻、博文館、1931年

ダリ、サルバドール『ミレー『晩鐘』の悲劇的神話——「パラノイア的批判的解釈』

鈴木雅雄訳、人文書院、2003年

中屋幸吉「東京オリンピック聖火の沖縄入りに現象した沖縄人の復帰意識について」『名前よ立つて歩け』三一書房、1972年

浜田幸絵「戦前期日本における聖火リレー——一九六四年東京オリンピック再考の手がかりとして」『メディア史研究』28、2010年

前田芳之「国境を越えるソテツ」『ソテツをみなおす——奄美・沖縄の蘇鉄文化誌』ボーダーリング、2015年

松田甚次郎『土に叫ぶ——愛郷愛土』羽田書店、1938年

村田健司、伊藤啓太、川野誠、鹿住孝「オリンピック用の聖火トーチの開発——ルーツは1964年に開催の東京オリンピック」『火薬と保安』51(1)、2019年

横井庄一『もっと困れ!——横井庄一のサバイバル極意書』小学館、1984年

「香川県安田村翼賛壮年団」『団運営の実際』3、大日本翼賛壮年団、1943年

『小豆島民俗芸能調査報告書』香川県教育委員会、1974年

『ふるさと安田——戦後の歩み』戦後の安田誌編集委員会、2006年

4頁中央にて、高山樗牛「晩鐘」を複数の版から混淆して引用しています。

この女子寮襲撃をマンチュリアと呼びます。ハンカチを振っている人は大変であります。引き抜いてもらつて、

お袋 うつ……。

襲撃者たちをレッドアーミーと称します。十年後に、この六ヶ月後に詠まれた歌をもつて來たがられます。影が落ち（醤油が加えられ）ます。放水所（炊事場の海軍呼び）。

お袋 丸い脚
素人 エヒヒ

椅子の背の斜面が横向きに迫ってきます。長いテーブルをはさんで、立つている側に、

お袋 献血サウナ、キメてビールしようね。透明で黄色一血よ。
素人 ウン

お袋 保火可樂（沸かしたコーラ）くだ、さい
素人 ウン

吸えます（ほかはできない）。非合意をよしとする人たちに委ねられますが、

短い言葉の斗争に勝たなきや達せられな（い）

お袋 ナあニ？
素人 いや、いや、ヒゲ、増えた、減った？
お袋 トイレ

初めて見る便器でしょう。立つたまま、

素人 ……頭がパパイヤになる……。……肌が荒れたことがある牛……。
お袋 弱含み……。

素人

頬骨と肉のあいだ右左痛む。拍にあわせて視界が薄く白む。タトゥーの入つてい
る島の、私の体温の池……。

見えて います。

（その池では私は感じないだろう）

右肺に青くガスの刷毛

お袋

素人

間。

お袋
素人
煮物が
ウン

お袋
素人
煮物が
ウン

鳥のけんかです。ニワトリだとうれしそうです。

お袋
（すっかり興奮して）つたいたい。ノリ・メ・タンヘレ（我に触れるな）よ（笑）
体感温度はどこにある、どこにある……。バナナは利尿剤……。何を着てると思
う？ 私の多機能……。そちらに表面を生む、とこちらは内感（ばかりであ
ること）際立つ。ああ水かき！ あなたがここに何を見ているのか……。移行す
る慰めのクチ……。

……事後だった。……自立したかつたらここに来たんだわ……。
鉄管ビールは？

……飲み飲みしてゐうちに変わつてしまつて、土地のリボンがかかつてゐる。私
たちは想像の20倍厚い

握雪音がします。関所が来ます。ここからはさらに明るくて、帰してくれま
すし、向うにテントであるところの赤十字（赤新月、赤水晶）、便乗したライ
オンズクラブが見えるでしよう。

あなたのハムのような曇り。私にはできない時と場所
来るときは同じだよ……。

溝を手小指先で越えられる、その溝がどいつにもある、そのことを嫌惡する、ま
つ毛の上に土色のものが乗つてゐる、私のテラス、私のテラス！

素人
お袋

素人
お袋

素人
お袋

素人
お袋

ホーイホイ

豚、呼んでる

食べさせてる。くさいくさい、ほしいものがくさいです

肉がパパイヤになる（条虫の卵で）……。

素人

お袋

間。畠仕事は違うことです。カシラ鶏の鳴くまで、

細くかじったバナナで耳穴ねらわれてる、肺はまだふくらめる、……私を何かが進む。これが時間でさえあつたなら！ 海中が白く濁っていたのはどこ（乳で）、ほら可能なすべての勢いをだして……！ ……………（あいつ）ゴロール（小豆島）（いた）って？

ウン

私のタレはって？

……疲れるのがやつと。

……口の中の鼻の入り口に玉がある、右内耳の気泡がつぶれてつながり曲線……。
どこいくの

トイレ

立ったまま、

泥落としてきてって言つたのに

うん

（見る）

……座つて、でもそれでは食べないで。

うん

もういつかい眠り玉（ねぎま）、ねぎまください

はいよーつ

反すう？

引き戻されます。献身と言いますか、わたしは欲したいんだけど、

お袋 クソ蒸すね。机、冷たいよ。

横で、

目の開いていないとき光は上から下方向へ行くんで、その逆に見えるのは対流なんだよ
なんて？

いや、わたしは返事しますよ

返事をするな！ なぜ返事をする。手でしやべるな

間。

お袋ぬれた石ののぞいてる。

間。

お袋 血管きれちゃいますよーう（ティクティク）

笑つてしまい、思いますのは、帰りのこと。南洋興発株式会社サイパン島チヤランカノア本社事務員だった矢田弥八（本名、矢代正太）が、帰日の途を行き道のようにした婦人雑誌の紀行記。

お袋 五年の在留を隠さないといけない。寝たきりで流動物ばかりなことにする。矢田

はまだできないが、師になる長谷川は、墨を入れるイレズミと青を刺すというのを、使い分ける。

関所が「行っていい」とささやき、天気が気にされます。

（咳）

歌いだされそなだけです。

野次

お袋

フィリピンへ逃げずに書いた戯曲で綺堂賞をもらう明大卒の矢田は「一貫して南洋」で、（習作の「あんぎん・すらたん」も）デビュー作の「ばんさ・ばるう」も、書き込むあらゆる現地語そして歌は、二十六日会の「はりきり会員」であるからにはすべて声に出され、長谷川の耳へ注がれる。新国劇に変えさせられたほうのラストで、恋人たちを島から逃がさない、島の児童のイントネーションの太平洋行進曲。「野の人」では東北のそれしか歌えぬ老婆たちの日清談判。

歌いだされそなだけです。

頬は目の真下とは思えない

うん

お袋

素人

お袋

素人

お袋

素人

お袋

素人

お袋

素人

素人

お袋

素人

そのまま休憩をします。

チヨンペー。

戸のスキマの注文書を取りに行きましょう。

二人一組で行きます。

……麦粒症……つ！ 私の、このめくれがどこまで続くか。追つっていくと見えないところ、宙に体表がある。耳のない豚。くぐつちやう。ウフシエツクリーニング屋……するか。

お袋

喋ると腹腰が突きあがつてくる、あれは誰の腹、私の茎、歯の茎、ささりたちの届くところは大きくひとつである。痛いところは見なればならないがかゆいところは見なくてもよい。右肩こりを背側、内側に。左腕はすべてを支えているが左手の甲は脇裏を冷やしている。左脚先が右膝裏にゆるく挟まれているがどんどん沈み込んでいく、しかし左膝は決して浮き上がらない。タンク（水槽）にタオルが沈んでるからそのまま踏み、水たまりを飛び越す像。

ボタンいじるのやめてください

雪みたいなつてるよ

素人

肌

お袋

あの窓いつしょに開けない？

……。

お袋

こどもカレーだよ

……。

お袋

こども？

水牛の放尿のように長い時間をかけた

おつほ

……。

お袋

しみない？（クルツ）

いつからカラカジヤ

とても長い間。

あなたのパーム（掌）をわたしに差し出してください
求めろということです（か）

ペツ

……。

……つばをのむと人のお腹が痛くなるので

お袋は素人ではなく、見回られております。ジョム（してみないと発音できないので、以下**）が来てきます。

素人

どこの泥かつて重大ですか？ この泥かつて重大ですか？ できる」とは？
(アメリカンに) 双目

素人

ないもう

間。

お袋

二つの平行な画板は各ヘソの上にありその背の下に脚がのびている。板の頭^いに右手のクレヨンだけに動きがある。その前頭部にいるカラスの指、赤いくちばし、羽の先以外は不鮮明である。くちばしに届きそうな奥の女兒のまとめた髪。ハシゴの前の原は河であり、そこで子どもたちに追いつこうとしている女が見えていて写している。

** (見せて) 図になつちやつて
持ち込もうとしないでください

** この汚れだもん。……風呂で洗ってよ

素人

お袋

……。

素人

お袋

……。

素人

お袋

……。

素人

お袋

……。

……髪をふり乱し……、塗りつけた腐った魚でなります服、避粉の布などともに洗う目にあう。顔に棲んでる小さい虫たち。鼻柱が点滅して右中の歯がじゅつとなる。……みぞおち左が沈み続ける、肋骨の下に棒をはさんだよう膝はちゃんと隣の膝の重さに耐えれんのよ。だからきつちり合わせて載せる。手首も。指頭同士をあわせておくのは不自然なので付け根に落ち込む……。

声は一生はやい……。

視界はどう？ 忘れちゃった？

……らの提供を元手に眼球集めネットワーク(バンク)は始まりますが、

お袋 拠かないでね、私を

鳥のけんかです。

お袋

……。

素人

お袋

……。

内モモをしゅりたくしたい…………。回転……、バンザイ……。かんねんしたか……！ 浪そうな板の舌……。よろこんで、よろこんで……。エリ芯（カラーステイ）を飲み込みかける…………。

就寝中に手をぬるま湯につけると失禁する

関所

間。

素人

お袋

……私も？

素人

お袋

……私も？

関所

全員と船に乗る

発現しますと、いずれにせよ。巻き戻っていて、

私がクリーンではないということが未だよく……。
私を取り巻く布はどうなってるか……。

素人

お袋

素人

お袋

……蟹の泡を食べさせて。タオルでつくつてくれる蟹の泡が私の泡
テンションは外圧のヒント、でもこれは屁。……お腹をしまわなきや

間。

*

（素人に） 玉子いくつめだお前は？ 母親の卵

ちょっととした休憩

二人一組は解除になつています。

素人 羽の山に飛びこむ！ 私をなでた羽は散らばる前ここにあつた。硬さを与えると暮らしさは変わる。硬さを与える？

やや上に、腰をおろしていく背中が見えます。ミルクの日、

素人 光沢感がすごいね

水。

素人 フォーカスをしなおさなければならなくなるのにまばたきをしてしまう。汗かとおもうがかいていない。小指の脇のささくれは薬指の腹は感じられる。あなたも押し切らることができる。潜水じゃないよう、それを言うなら残心でしょ。

間。

素人 私のよだれでまとめたルアーのエレガンスが硬さをよろこび、ハタキをも硬くするだろう。眼を縫うまでのけんかはやめないだろう。私はそれを抜きあさるだろう……。（要するに）クチでトリを育てる……。織物が冷えて、震えがくる。：手首が立っていく……。

スネイクアウト（木登り蛇によるブラックアウト）。

素人 急いで去る姿（脚の着地のたびに尻を落とすと肩も下がり、腕は肘の先だけ大きく振る）、というか来てる姿です。

素人 時を告げたあと……、水没者の居どころを告げたあと……、友引の道連れになつたあと……、

間。

関所

私は……よ

関所

間。

見るよ、見る

歌いだされそなだけです。

素人 アクビを喉奥で。…………右向いてたら左肩から転びそうになつて、逆に後ろに
引かれていつて、左ひじが開く。右すねに、左ひざ内側のでっぱりがかかつて、
止まる。

背後から、

お袋 トイレ行く？

素人 行かない。初めてのカタカナの法律になる。

間。

お袋 素人 じやぶじやぶの言い換えだア。
素人 とにかく働きを輸出する。

間。

お袋 素人 上手ね。でも肉がむれちやつてる。もうわかる。占いだね。

お袋 素人 違う。結果です。

お袋 素人 どうして？

お袋 素人 寝ている間に運ばれるようなことはないからです。
お袋 素人 何が残つてるの？

間。

素人 ……お湯のバカ野郎。

かの風呂しかありません（インキュベーターでもあります）。

素人（手前で）あなたが私をついばんでいる。私でない場所も。私は私でほじくつて
いぬ。（悶）……………赤くなつてねな。

間。

素人 食べ物に両手を埋めて、それからはじめる。

素人

終了

特に参考にした箇所のある文献

- 秋篠宮文仁編『鶴と人——民族生物学の視点から』小学館、2000年
- 阿部登『ヤシの葉に書いた文字の物語』阿部博、1999年
- 飯高伸五「セイネンダンのユーンヨーキ——日本統治下パラオにおける現地人若年層「動員」の記憶」『高知県立大学文化論叢』4、2016年
- 市瀬正「角膜移植術推進のための献血運動」『信州医学雑誌』34(4)、1986年
- 太田正雄「シャム及びフイリツピンに於ける癩療養所」『木下杏太郎全集 14』、岩波書店、1982年
- 葛木晋三「赴居見たまゝ『群島』『演説画報』30(15)、1941年
- Kusaka, Wataru, "Discipline and Desire: Hansen's Disease Patients Reclaim Life in Culion, 1900-1930s". Social Science Diliman 13 (2), 2017
- 香西豊子『流通する「人体」——献体・献血・臓器提供の歴史』勁草書房、2007年
- 白杉悦雄「冷え性の発見」『近代日本の身体感覺』青弓社、2004年
- 杉村春子「桃烟の患者さん」(『日本映画』5(6)、大日本映畫協會、1940年)『「日本映画」「映画旬報」17』、ゆまに書房、2003年
- 富山一郎「熱帯科学と植民地主義」『ナショナリティーの脱構築』柏書房、1996年

平川宗隆『沖縄トイレ世替わり——ホール（豚便所）から水洗まで』ボーダーインク、
2000年

藤野豊「田「南洋群島」のハンセン病政策——隔離と虐殺の論理と構造」『思想』101
2、2008年

古川誠「性欲主義のイデオローグ——通俗性欲学者とその時代」『彷彿月刊』192、2
001年

矢代正太「南進日本の生命線・南洋を探る——サイパン島紀行記」『婦女界』61（10）、
1940年

和辻哲郎『初版 古寺巡礼』筑摩書房、2012年

「7億円を集めてタイへ逃亡!——“超”女子力オバサン「山辺節子」のお花畠日記(下)」
デイリー新潮（週刊新潮 2017年5月4・11日号）ホール（ノンウイーク特大号掲載）（最
終閲覧日：2020年4月2日）<https://www.dailysinchon.jp/article/2017/05120800/>
「南洋興発株式会社社員録（『南洋群島案内』大宜見朝徳著 海外研究所発行 昭和十二
年発行より）」『沖縄県史 資料編 17（近代 5）（旧南洋群島関係資料）』沖縄県教育委
員会、2003年

「編集後記」『クリオノ通信』2、クリオノ通信編集部、2012年